

岩屋ダム

下呂市金山地区にある岩屋ダムの展望台の前に、緑豊かな山々に囲まれた青緑色の湖が広がります。このダムは水力発電と洪水防止、周辺地域への水の供給を確保するために建設されました。建設は 1966 年に始まり 10 年間続きました。ダムは地域社会に貢献し、湖はレジャー活動や野生生物愛好家が訪れる場所となっています。

岩屋ダムは高さ 127.5 メートル、長さ 366 メートルのロックフィルダムです。ダムの貯水池である東仙峡金山湖は飛騨川流域最大の人造湖で、その貯水量は 1 億 5,000 万立方メートルです。この湖はカヤックや SUP などのウォーター スポーツで人気のスポットです。

豪雨時に岩屋ダムは毎秒最大 2,400 立方メートルの新しい水を貯水し、毎秒 300 立方メートルを放流しながら残りを安全に貯留します。岐阜県、愛知県、三重県および名古屋市に農業用水、工業用水、家庭用水を配水しています。ダムからの水は地元の発電所で使用され、約 11 万世帯分の電力を生みだします。

ダムの近くにある展示ホールでは、ダムの構造、機能、特徴に関する図解などの情報が提供されています。アプリをダウンロードし、施設内でカードをスキャンすることで拡張現実体験も可能です。展示ホールの上には展望台があります。

貯水池とダムを囲む森林の斜面には多くの動植物が生息しています。貯水池のほとりにはカタクリ (*Erythronium japonicum*) やクマガイソウ (*Cypripedium japonicum*) と呼ばれるランが群生しています。春には黄色い模様のギフチョウ (*Luehdorfia japonica*) が羽化し、4 月から 7 月にかけて水辺の木々にモリアオガエル (*Zhangixalus arboreus*) が産卵します。周囲の空を飛び回る威厳のあるクマタカ (*Nisaetus nipalensis*) を一年中観察できます。